

# [単体情報]

## 営業の概況

当中間期における業績は、次のとおりとなりました。

譲渡性預金を含めた預金等は、前年度末比804億円増加して6兆6,030億円となりました。貸出金は、前年度末比402億円減少して4兆9,591億円となりました。有価証券は、前年度末比1,241億円減少して1兆7,663億円となりました。

経常収益は、政策保有株式等の有価証券を売却したことにより、その他業務収益及びその他経常収益が増加したことなどから、前年同期比65億67百万円増加して603億42百万円となりました。一方、経常費用は、有価証券ポートフォリオの入替による国債等債券売却損の計上により、その他業務費用が増加したことなどから、前年同期比62億70百万円増加して405億67百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比2億97百万円増加して197億75百万円となりました。また、中間純利益は、前年同期比3億63百万円増加して140億2百万円となりました。

銀行の安全性・健全性を示す単体総自己資本比率（バーゼルⅢ基準）は14.46%となりました。

中間配当金につきましては、1株につき8円といたしました。